



いばらき県議会だより

No.182

茨城県議会

検索

<http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議及び予算特別委員会を生中継及び録画中継しています

県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/?page=3044>

「いばキラTV」 <http://ibakira.tv> 本会議及び予算特別委員会を生中継します



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]



真壁のひなまつり(桜川市)平成25年2月4日(月)~3月3日(日)

真壁の風情ある町並みの中に江戸から平成までのひな人形、手作りのつるし雛、地元特産のみかげ石で作ったひな人形などが飾られます。ひな人形を飾る家は約160軒を数え、期間中には10万人を超える観光客が訪れます。また、歴史的建造物が軒を連ねる町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

県民の皆様には、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

先の第四回定例会におきまして、第百六代茨城県議会副議長に就任いたしました。職責の重さを深く認識し、県勢発展のため、白田議長を補佐して、公正で円滑な議会運営に努めてまいります。

さて本県財政は、公債費や社会保障関係費の増加に加え、保有土地対策を進める必要があることなどから、依然として危機的な状況にあります。このため、組織や事務事業の見直しなどさらなる改革を行い、安定した財政構造の確立を目指さなければなりません。

一方で、将来に夢と希望の持てる社会を実現するためには、厳しい財政状況の中でも



広域交通網を活かし 県内産業の活性化を

茨城県議会副議長 藤島正孝

茨城県議会副議長 藤島正孝

続いて県勢の発展を図ることが重要です。東関東水戸線などの早期全線開通を促進するとともに、広域交通網を活かし、企業立地や広域交流の促進を図ることにより、県内産業の活性化を進めていくことが必要です。

また、東日本大震災では、本県においても、津波や地盤の液化化などにより、想像を絶する甚大な被害が発生しました。現在、復興に向けて懸命の取り組みが続けられているところですが、一日も早く被災地に元気が戻るよう、県としても、国や市町村などと連携し、復旧・復興に最善の努力をしていかなければならないと考えております。

皆様には、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

正副議長就任あいさつ

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また日頃から、茨城県議会に対するご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

先の第四回定例会におきまして、第百四代茨城県議会議長に就任いたしました。

本県は現在、厳しい財政状況の下、地域経済の低迷や少子高齢化、人口の減少など、様々な課題を抱えています。

こうした中、行財政の効率化をさらに徹底しつつ、郷土の一日も早い復興と経済対策の強化に最優先で取り組まなければなりません。特に、政府のデフレ脱却に向けた大型補正予算により、本県経済・雇用情勢の速やかな回復を図ることが必要です。



県民の安心と 安全を支える県議会

茨城県議会議長 白田信夫

茨城県議会議長 白田信夫

また、通学路の安全確保や防災・治安対策の強化などを図るとともに、医師の確保や中核病院の整備など、安心して医療を受けられる体制づくりを進め、安心と安全に満ちた社会を目指していかなければなりません。

さらに少子化時代の中で、確かな学力向上や国際化に対応した、たくましい人材の育成により、県勢の発展に努めることも重要であり、私ども県議会では、「県民の安心と安全を支える県議会」をモットーに、今後も地域の状況を的確に把握しながら、県民の皆様方とともに本県の豊かな未来づくりに全力で取り組んでまいりたいと考えております。

皆様のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

今定例会の概要

平成二十四年第四回定例会は、十二月六日から十二月二十一日まで十六日間の会期で開かれました。

議案は、議員から茨城県議会基本条例、茨城県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例など、知事から平成二十四年度茨城県一般会計補正予算、茨城県森林湖沼環境税条例の一部を改正する条例などが提出されました。

一般質問では、茨城マルシェの魅力ある店舗への発展策、霞ヶ浦流域の生活排水対策、新エネルギー政策における木質バイオマスの活用、水戸北スマートICのフルインター化などについて質問しました。(二・三面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事項に関する質問を行い、水郡線のSL運行の継続、消防救急無線の統一への取り組み、導入予定の近赤外光機能計測装置の効果、農林水産収穫祭の開催による地産地消の推進、トンネルの点検内容、反射材の効果の周知などを議論しました。(四・五面)

決算特別委員会では、平成二十三年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定などについて審査しました。(六・七面)

東日本大震災復興・元氣ないばらきづくり調査特別委員会では、震災からの復興と元氣ないばらきづくりの基本方向について、最終報告書をまとめました。(七面)

今回の定例会に提出された七十一件の議案は、すべて可決・承認・認定・同意されました。

また、請願二件が採択されました。